基準日：　2026年9月30日

好配当グローバルREITプレミアム・ファンド通貨セレクトコース（愛称：トリプルストラテジー）

【商品分類】 追加型投信／内外／不動産投信　　【設定日】 2013年1月29日　　【決算日】 原則、毎月18日

運用実績

基準価額および純資産総額

基準価額	2,169円
純資産総額	116.21億円

※ 基準価額は、分配金控除後です。

期間別騰落率

	当ファンド
過去1ヵ月間	-8.76%
過去3ヵ月間	-8.69%
過去6ヵ月間	5.01%
過去1年間	9.15%
過去3年間	36.79%
過去5年間	52.84%
設定来	82.32%

※　ファンドの騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、税引前の分配金を再投資したものとして計算しており、実際の騰落率とは異なります。
※　設定来のファンド騰落率は、10,000 円を基準として計算しております。

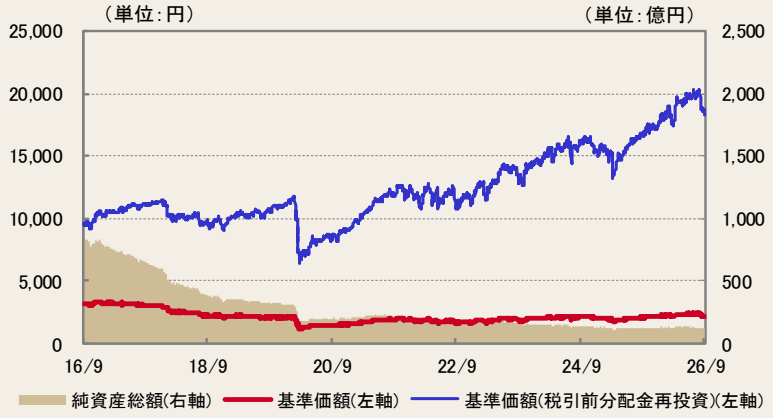
分配実績（直近5期分／1万口当たり、税引前）

2026年05月	10円
2026年06月	10円
2026年07月	10円
2026年08月	10円
2026年09月	10円
直近1年間累計	120円
設定来累計	9,230円

※　収益分配金額は委託会社が決定します。分配を行わないこともあります。

基準価額・純資産の推移

2016/09/30～2026/09/30



※ 基準価額（税引前分配金再投資）は、分配実績があった場合に、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものとして計算しております（以下同じ）。
※ 基準価額及び基準価額（税引前分配金再投資）の計算において信託報酬（後掲「ファンドの費用」参照）は控除されております（以下同じ）。
※ 当ファンドは、ベンチマークを設定しておりません。
※ 分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額（税引前分配金再投資）のグラフが重なって表示される場合があります。

構成比率

	純資産比
UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - TCW GLOBAL REIT PREM	95.12%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	1.05%
コール・ローン等	3.83%

投資信託証券：UBP オポチュニティーズ TCW グローバル リート プレミアム マルチカレンシー

本項目は、UBPインベストメンツおよびTCW インベストメント マネジメント カンパニー、ユニオン バンケール プリヴェ ユービーピー エスエーが作成したデータを掲載しております。

構成比率

	純資産比
投資証券	96.4%
現金等	3.6%

業種別構成比率

業種	純資産比
データセンターREIT	19.4%
工業用REIT	12.4%
不動産サービス	11.2%
ヘルスケアREIT	9.2%
その他専門REIT	8.8%
電波塔REIT	8.5%
ホテル・リゾート・クルーズ船	7.9%
集合住宅用REIT	5.3%
店舗用REIT	3.9%
その他	9.8%

組入上位銘柄

	銘柄名	通貨	発行国/地域	業種	純資産比
1	EQUINIX INC	米ドル	アメリカ	データセンターREIT	10.6%
2	WELLTOWER INC	米ドル	アメリカ	ヘルスケアREIT	9.2%
3	DIGITAL REALTY TRUST INC	米ドル	アメリカ	データセンターREIT	8.8%
4	PROLOGIS INC	米ドル	アメリカ	工業用REIT	8.4%
5	IRON MOUNTAIN INC	米ドル	アメリカ	その他専門REIT	7.8%
6	AMERICAN TOWER CORP	米ドル	アメリカ	電波塔REIT	7.6%
7	JONES LANG LASALLE INC	米ドル	アメリカ	不動産サービス	6.1%
8	MID-AMERICA APARTMENT COMM	米ドル	アメリカ	集合住宅用REIT	5.3%
9	CBRE GROUP INC - A	米ドル	アメリカ	不動産サービス	5.1%
10	TRAVEL + LEISURE CO	米ドル	アメリカ	ホテル・リゾート・クルーズ船	4.0%
				銘柄数	23銘柄

※ 後述の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

基準日： 2026年9月30日

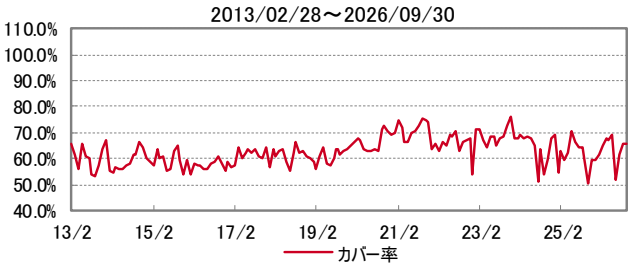
好配当グローバルREITプレミアム・ファンド通貨セレクトコース（愛称：トリプルストラテジー）

ポートフォリオ概況

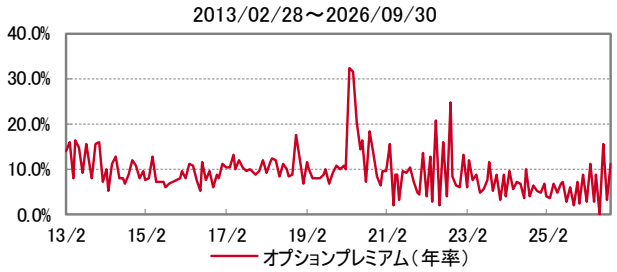
カバー率	65.7%
平均行使価格	114.0%
平均行使期間	43.4日
配当利回り	2.7%
オプションプレミアム（年率）	11.1%
為替プレミアム（年率）	3.6%

※ カバー率は、保有銘柄に対するコールオプションのポジションです。
※ 平均行使価格は、原資産価格（REIT 等の価格）に対する平均権利行使価格です。
※ 平均行使期間は、権利行使日までの平均日数です。
※ 配当利回りは、保有銘柄に対する実績（予想）配当利回り（税引き前）です。ファンド全体の期待利回りを示すものではありません。
※ オプションプレミアム（年率）は、カバードコール戦略におけるオプションプレミアム収入（オプションを売却した対価として受け取る権利料）を年率換算の上、当月末純資産総額で除して算出しております。
※ 為替プレミアム（年率）は、為替取引によるプレミアム収入（取引対象通貨の短期金利とリート等の発行通貨の短期金利の差相当分の収益）を年率換算して算出しております。

カバー率の推移



オプションプレミアム（年率）の推移



※ カバー率の推移とオプションプレミアム（年率）の推移のグラフは月末のデータのみとなっております。

国・地域別構成比率

国・地域	純資産比
アメリカ	85.8%
オーストラリア	4.0%
スペイン	3.5%
イギリス	3.0%

通貨別構成比率

為替取引前

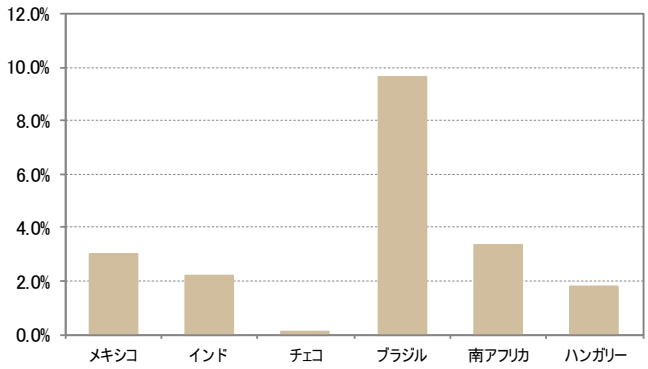
通貨	純資産比
米ドル	87.9%
オーストラリア・ドル	4.0%
ユーロ	3.5%
英ポンド	1.0%

為替取引後

通貨	純資産比
ハンガリー・フォリント	16.8%
チェコ・コルナ	16.8%
南アフリカ・ランド	16.8%
ブラジル・レアル	16.6%
インド・ルピー	16.6%
メキシコ・ペソ	16.3%
その他	0.2%

＜ご参考＞

為替取引対象通貨の短期金利差（対原資産通貨の短期金利）



参考指数の推移

2013/01/29～2026/09/30

※ 上記の指数はベンチマークではありません。

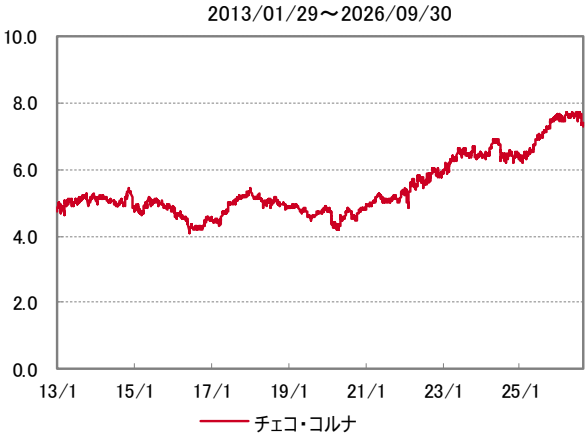
出所：Bloomberg

基準日： 2026年9月30日

好配当グローバルREITプレミアム・ファンド通貨セレクトコース（愛称：トリプルストラテジー）

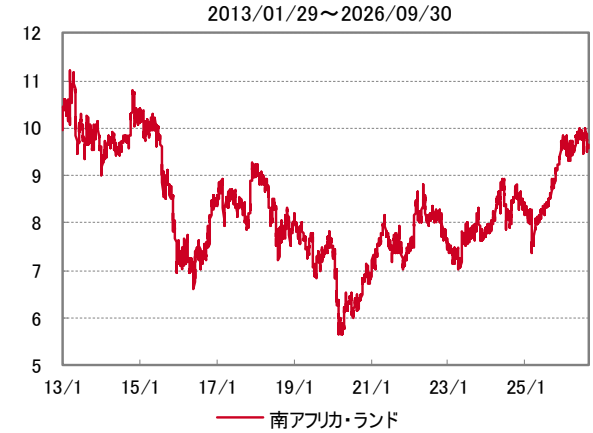
為替取引対象通貨の為替レート推移（対円）

チェコ・コルナ

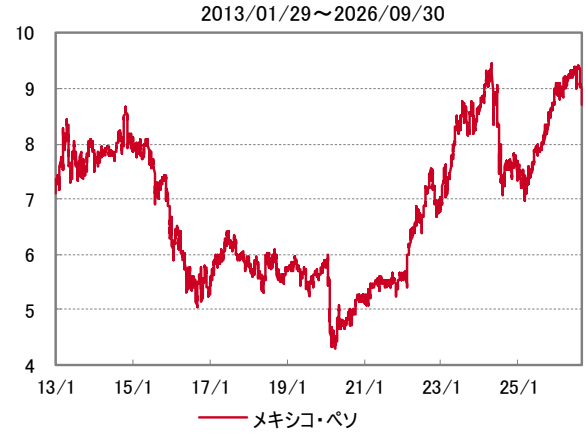


ブラジル・レアル

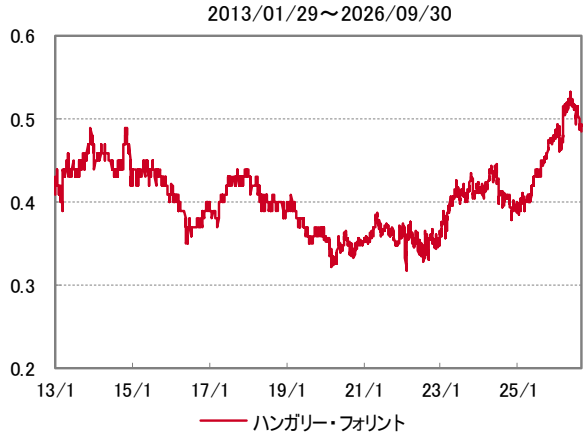
南アフリカ・ランド



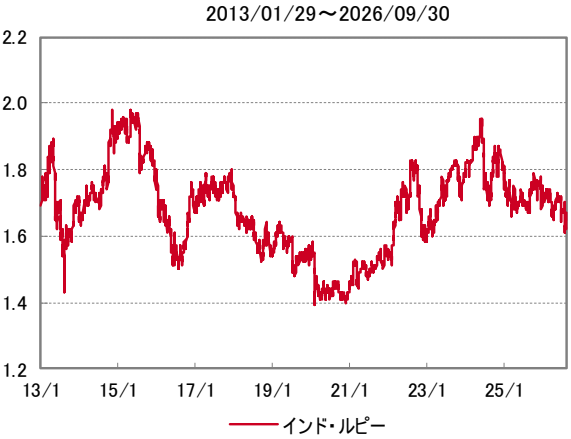
メキシコ・ペソ



ハンガリー・フォリント



インド・ルピー



出所：Bloomberg、資産運用業協会

好配当グローバルREITプレミアム・ファンド通貨セレクトコース（愛称：トリプルストラテジー）

ファンド運用概況　UBP オポチュニティーズ TCW グローバル リート プレミアム マルチカレンシー

○市場動向

9月のグローバルリート市場（米ドルベース）は下落しました。

米国リート市場（現地通貨建て）は下落しました。原油高に伴うインフレ懸念から長期金利が上昇したことや、FRB（米連邦準備理事会）による約3年ぶりとなる利上げ決定と追加利上げ観測の強まりなどが嫌気され、月を通してほぼ一本調子の下落となりました。

欧州リート市場（現地通貨建て）は下落しました。原油高によるインフレ懸念や、ECB（欧州中央銀行）の利上げ決定ならびにインフレ見通しの引き上げに伴う追加利上げ観測の強まりなどを背景に、欧州の長期金利が上昇したため、軟調な展開となりました。

オーストラリアリート市場（現地通貨建て）は下落しました。原油高によるインフレ懸念が強まる中、RBA（オーストラリア準備銀行）のタカ派的（金融引き締めに積極的）な金融政策見通しなどが相場の重しとなりました。月末は値ごろ感からの買いが入り、小反発して引けました。

日本のリート市場は下落しました。原油高や欧米での金利上昇を受け、日本の長期金利も約30年ぶりの高水準となったことが嫌気され、軟調な展開となりました。

○運用経過

当ファンドでは、世界のリート、不動産関連企業の中から相対的に利回りが高いと考えられる銘柄を厳選して投資を行いました。9 月は、不動産サービスの Jones Lang LaSalle Incorporated や、インフラリートの SBA Communications Corporation などの保有がマイナスに寄与しました。

また、リートのカバードコール戦略の活用により、オプションのプレミアム収入の獲得を目指し、ファンドのトータルリターンの向上を目指しました。この結果、月末時点でファンドが投資しているリートのオプションの平均行使価格は 114.0%、プレミアム（年率）は 11.05%となりました。

為替取引においては、相対的に金利水準が高く、成長性が高いと考えられる 6 通貨（ブラジル・レアル、インド・ルピー、ハンガリー・フォリント、チェコ・コルナ、メキシコ・ペソ、南アフリカ・ランド）を購入し、プレミアムの獲得を目指しました。9 月は、基準価額に対しては、全ての組入通貨が円に対して下落したことがマイナスに寄与しました。

○今後の運用方針

今後の米国株式市場の見通しに関しては、金融政策、エネルギー市場、そして AI 投資サイクルの進展が引き続き重要な要因になると考えられます。ウォーシュ FRB 議長は、インフレ抑制を重視しつつフォワードガイダンス（先行きの指針）を否定しています。そのため、市場は経済指標に過敏に反応しており、金利と株価の変動性が高まっています。加えて、人工知能（AI）をめぐり、最先端 AI モデルの開発ペースの調整や規制強化の議論が浮上し、投資家は AI 関連投資の長期的な方向性をより慎重に見極める姿勢に転じています。巨額の AI 投資が、金利上昇や不確実性を補う利益成長につながるかが焦点になると考えています。このような環境下では、当社は引き続き、マクロ環境に左右されにくい、強固なフリーキャッシュフロー創出力、価格決定力、そして財務上の柔軟性を備えた企業を選好します。

新興国通貨に関しては、中長期的には先進国を上回る経済成長が実現する可能性が高いと考えています。ウクライナ情勢や中東情勢などの不確実性はあるものの、経済活動の正常化が進む中、対ドルの為替レートの下方リスクも低下してくると考えています。

今後も市場の動向を注視しつつ、高水準の配当収入の確保と信託財産の成長を目指し、地域分散、セクター分散などに配慮した運用を実施していきます。

（「UBP オポチュニティーズ TCW グローバル リート プレミアム」の運用会社からの情報を基に当社が作成）

好配当グローバルREITプレミアム・ファンド通貨セレクトコース（愛称：トリプルストラテジー）

ファンドの特色

1　日本を含む世界各国の取引所に上場されている相対的に利回りが高いと判断されるＲＥＩＴ（リート、不動産投資信託証券）及び不動産関連の株式等を実質的な主要投資対象とし、相対的に高い配当収入等の確保と信託財産の成長を図ることを目指します。

- ● ファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
  - ・当ファンドは「UBP オポチュニティーズ TCW グローバル リート プレミアム マルチカレンシー※1」および「損保ジャパン日本債券マザーファンド」を主要投資対象とします。
  - ・原則として「UBP オポチュニティーズ TCW グローバル リート プレミアム マルチカレンシー※1」への投資比率を高位に保ちます。

※1　「UBP オポチュニティーズ TCW グローバル リート プレミアム」ということがあります。

2　「ＲＥＩＴプレミアム（カバードコール）戦略」の活用により、オプションのプレミアム収入の獲得を目指しながら、ファンドのトータルリターンの向上を目指します。

- ● 「ＲＥＩＴプレミアム（カバードコール）戦略」とは、投資したリート等の個別銘柄毎に、保有口数（または保有株数）の一部または全部にかかるコールオプションを売却することにより、トータルリターンの向上を目指す戦略です。
  - ・相対的に高いプレミアム収入の獲得が期待できる反面、リート等の価格が上昇し、権利行使された場合には、値上がり益を一部または全部放棄することになります。
  - ・カバードコールのカバー率（保有銘柄に対するコールオプションのポジション）はアクティブに変更を行い、高いプレミアム収入とともに保有銘柄の値上り益の獲得も同時に目指します。なお、資産規模等で当該運用が困難な場合は、不動産投資信託指数に連動する上場投資信託（ＥＴＦ）の投資信託証券を通じたカバードコール戦略を活用することがあります。
  - ・オプションのプレミアム収入とは、オプションを売却した対価として受け取る権利料のことを指します。

3　原則、相対的に金利水準が高く、成長性が高いと考えられる６通貨※1の為替取引を行い、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）※2の獲得を目指します。

※1　為替取引を行う通貨は、市場環境によっては６通貨を下回る場合もあります。また、必ずしも相対的に金利の高い上位通貨から選定されるとは限りません。

※2　為替取引（原資産通貨売り／対象通貨買い）を行うことにより、原資産通貨より高い金利の通貨で為替取引を行う場合、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）の獲得が期待できます。

- ● なお、直物為替先渡取引（NDF）※3を利用する場合があります。
  NDFの取引価格は、需給や対象通貨に対する期待等により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。この結果、基準価額の値動きは、実際の当該選定通貨の為替市場の値動きから想定されるものと大きく乖離する場合があります。

※3　直物為替先渡取引（NDF）とは、規制等がある通貨の為替取引を行う場合等に利用され、決済時に元本部分の受け渡しを行わずに、米ドルまたはその他の主要な通貨によって差金決済する取引をいいます。

4　原則、毎月18日（休業日の場合は翌営業日）の決算時に収益の分配を行います。

- ● 分配対象収益が少額の場合は分配を行わないことがあります。

投資リスク①

《基準価額の変動要因》

ファンドの基準価額は、組入れられる有価証券等の値動き等による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属いたします。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。ファンドの主なリスクは以下のとおりです。
※基準価額の変動要因は、以下に限定されるものではありません。

◆価格変動リスク

リート等※の価格は、国内外の政治・経済情勢、金融政策、不動産市況や保有する不動産の状況等の影響を受けて変動します。
組入れているリート等の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。
また、不動産向けローンに投資するモーゲージリートの価格は、上記のリスクに加えて、保有するモーゲージの信用価値及びモーゲージの担保となる不動産評価額による影響を受けます。
※リートおよび不動産関連の株式等をいいます。以下同じ。

好配当グローバルREITプレミアム・ファンド通貨セレクトコース（愛称：トリプルストラテジー）

投資リスク②

◆カバードコール戦略の利用に伴うリスク

ファンドが主要投資対象とする投資信託証券は、リート等への投資と当該リート等に係るコールオプションを売却するカバードコール戦略を利用します。カバードコール戦略では、コールオプションの権利行使価格以上にリート等の価格が上昇した場合には、その値上がり益を放棄するため、カバードコール戦略を行わずにリート等に投資した場合に比べ、投資成果が劣る可能性があります。
コールオプションは、時価で評価するため、リート等の価格が上昇した場合や価格変動率が上昇した場合等には、売却したコールオプションの価格の上昇による損失を被ることとなり、基準価額の下落要因となります。なお、コールオプションの売却時点でオプションプレミアム相当分が基準価額に反映されるものではありません。
オプションプレミアムの収入の水準は、コールオプションの売却を行う時点のリート等の価格や変動率、権利行使価格水準、満期までの期間、市場での需給関係等複数の要因により決まるため、当初想定したオプションプレミアムの収入の水準が確保できない可能性があります。
カバードコール戦略において、リート等価格下落時に、カバードコール戦略を再構築した場合、リート等の値上がり益は、再構築日に設定される権利行使価格までの上昇に伴う収益に限定されますので、その後に当初の水準までリート等の価格が回復しても、ファンドの基準価額は当初の水準を下回る可能性があります。
ファンドでは実質的に個別銘柄ごとにカバードコール戦略を構築するため、リート等価格上昇時の値上がり益が個別銘柄ごとに限定される結果、投資成果がリート等市場全体の動きに対して劣後する可能性があります。
換金等に伴いカバードコール戦略を解消する場合、市場規模や市場動向等によっては、コストが発生し、基準価額に影響を与える場合があります。

◆流動性リスク

国内外の政治・経済情勢の急変、天災地変、発行体の財務状態の悪化等により、有価証券等の取引量が減少することがあります。この場合、ファンドにとって最適な時期や価格で、有価証券等を売買できないことがあり、ファンドの基準価額が下落する要因となります。
また、取引量の著しい減少や取引停止の場合には、有価証券等の売買ができなかったり、想定外に不利な価格での売買となり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

◆信用リスク

リート等の価格は、発行体の財務状態、経営、業績、保有する不動産の状況等の悪化及びそれらに関する外部評価が悪化した場合には下落することがあります。組入れているリート等の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。
また、発行体の倒産や債務不履行等の場合は、リート等の価値がなくなることもあり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

◆為替変動リスク

主要投資対象とする投資信託証券は、主に外貨建資産（以下、投資対象資産といいます。）へ投資し、原則として選定通貨に対する為替取引（投資対象資産の発行通貨売り／選定通貨買い）を行うため、選定通貨の対円での為替変動による影響を大きく受けます。また、投資対象資産の為替変動を選定通貨で完全に回避することができないため、投資対象資産の発行通貨の為替変動による影響を受ける場合があります。
なお、選定通貨の金利が投資対象資産の発行通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなります。
一部の選定通貨については、直物為替先渡取引（ＮＤＦ）※を利用する場合があります。
ＮＤＦの取引価格は、需給や対象通貨に対する期待等により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。この結果、基準価額の値動きは、実際の当該選定通貨の為替市場の値動きから想定されるものと大きく乖離する場合があります。
※直物為替先渡取引（ＮＤＦ）とは、規制等がある通貨の為替取引を行う場合等に利用され、決済時に元本部分の受け渡しを行わずに、米ドルまたはその他の主要な通貨によって差金決済する取引をいいます。

◆カントリーリスク

一般的に、主要先進国以外の国では、主要先進国に比べて、経済が脆弱である可能性があり、国内外の政治・経済情勢、取引制度、税制の変化等の影響を受けやすく、また市場規模や取引量が小さいこと等から有価証券等の価格がより大きく変動することがあり、ファンドの基準価額が大きく下落することがあります。

《その他の留意点》

◆ クーリングオフ制度（金融商品取引法第37条の６）の適用はありません。
◆ 大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、ファンドの基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込の受付が中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

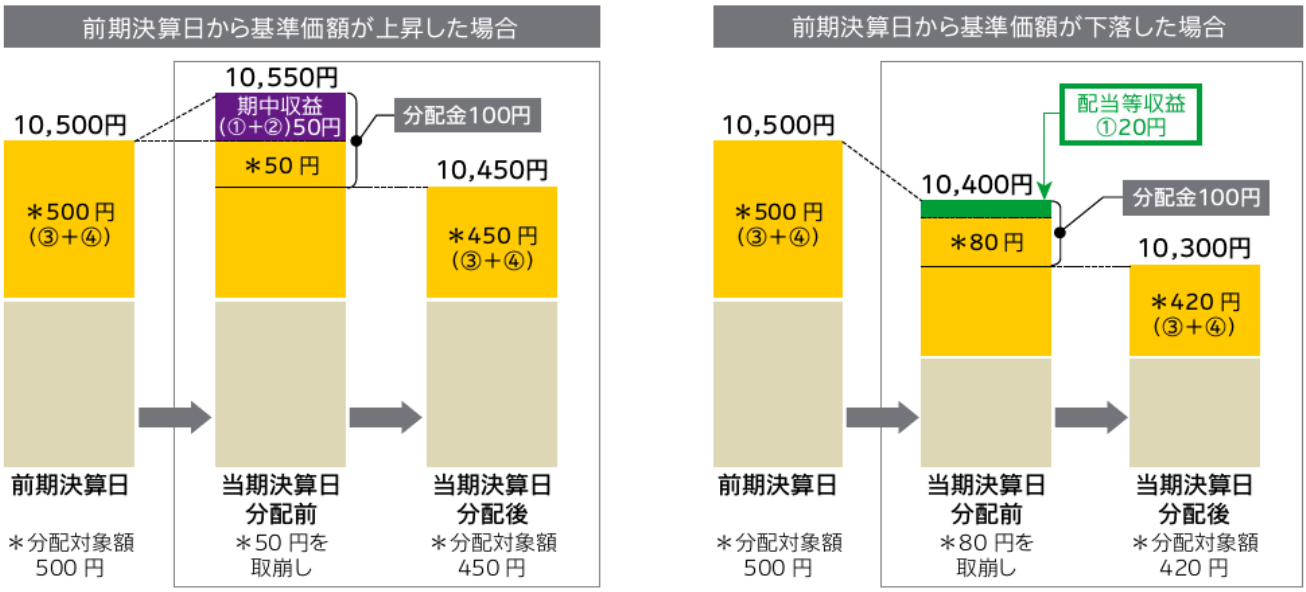
好配当グローバルREITプレミアム・ファンド通貨セレクトコース（愛称：トリプルストラテジー）

投資信託の収益分配金に関する留意事項

●分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

●分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。
また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

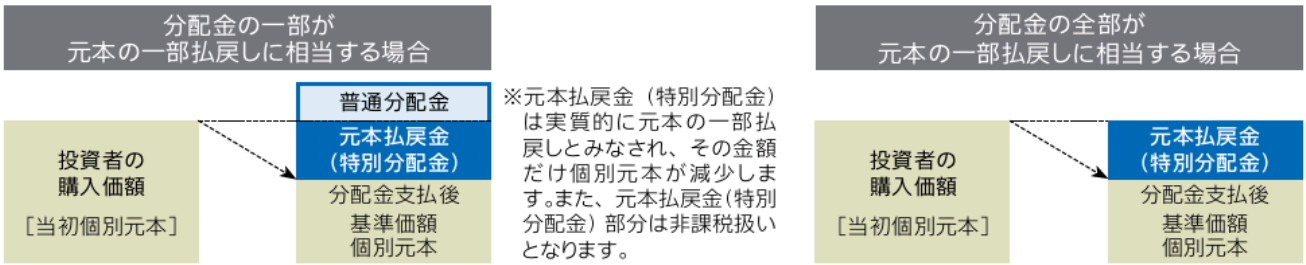
計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



（注）分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
分配対象額は、以下①～④です。
①経費控除後の配当等収益、②経費控除後の評価益を含む売買益、③分配準備積立金、④収益調整金

※上記はイメージです。実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。

●投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。



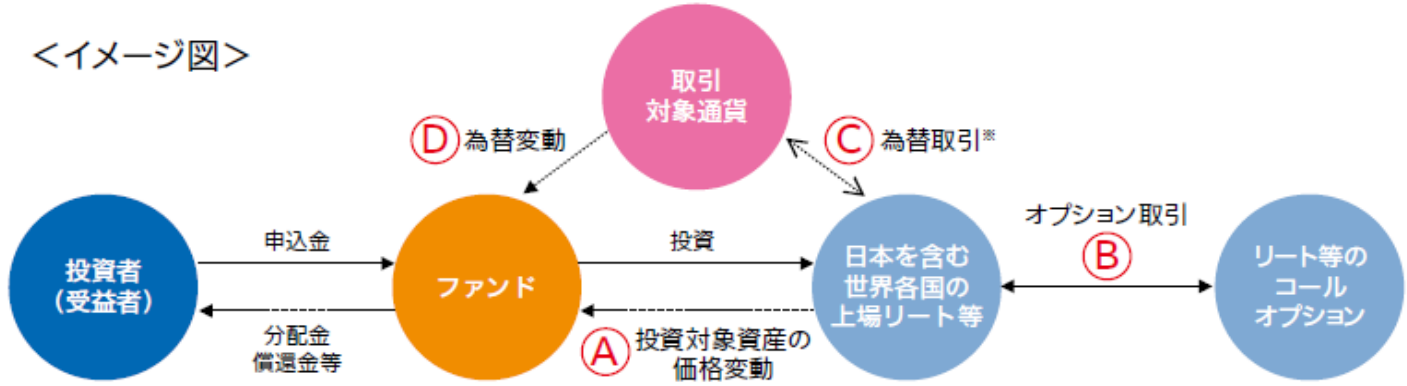
※元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金（特別分配金）部分は非課税扱いとなります。

普通分配金	個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金（特別分配金）	個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

（注）普通分配金に対する課税については、後掲の「●税金」をご参照ください。

好配当グローバルREITプレミアム・ファンド通貨セレクトコース（愛称：トリプルストラテジー）

当ファンドの収益のイメージ



※取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

●当ファンドの収益源としては、以下の４つの要素が挙げられます。
これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

		Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ
収益の源泉		リート等の配当等収入、値上がり／値下がり	コールオプションのプレミアム／権利行使価格を上回る部分の損失	為替取引によるプレミアム／コスト	為替差益／差損
収益を得られるケース	インカム	・配当の受取り	・オプションプレミアムの受取り	・プレミアム（金利差相当分の収益）の発生 （取引対象通貨の短期金利 ＞ リート等の発行通貨の短期金利）	
	キャピタル	リート等の価格の上昇 リート等の価格が権利行使価格を超える場合、その超過分はオプションの損失と相殺されます。※	売却したオプション価値の下落 〈プレミアム収入が上限〉		為替差益の発生 ・円に対して取引対象通貨高
損失やコストが発生するケース		リート等の価格の下落	売却したオプション価値の上昇 オプションにおける損失：リート等の価格が権利行使価格を超える場合、その超過分はリート等の価格の上昇と相殺されます。※	・コスト（金利差相当分の費用）の発生 （取引対象通貨の短期金利 ＜ リート等の発行通貨の短期金利）	為替差損の発生 ・円に対して取引対象通貨安

相殺効果

（注）リート等の価格が権利行使価格を超えて上昇した場合、その超過分は、オプションを売却している割合（カバー率）に応じて一部または全部が、オプションの権利行使によって、相殺されます。

好配当グローバルREITプレミアム・ファンド通貨セレクトコース（愛称：トリプルストラテジー）

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 ※ 詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 ※ 詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した額
換金代金	換金請求受付日から起算して、原則として７営業日目からお支払いします。 有価証券の売却（主要投資対象とする投資信託証券の解約または換金を含みます。）や売却代金の入金が遅延したとき等は、換金代金の支払いを延期する場合があります。
申込不可日	● ロンドンの銀行の休業日、ニューヨークの銀行の休業日、ルクセンブルグの銀行の休業日、ロンドン証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日 ● 上記いずれかの休業日が連続する場合（土曜日、日曜日を除きます。）、当該期間開始日より４営業日前までの期間 ● ルクセンブルグの銀行の休業日の前営業日
申込締切時間	原則として、午後3時30分までに販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込受付分とします。 ※ 受付時間は販売会社により異なる場合があります。詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求を制限する場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	以下の事態※が発生したときは、購入・換金の受付を中止すること、及び既に受付けた当該申込みの受付を取り消すことができるものとします。 ※ 購入・換金の申込金額が多額であると判断した場合、主要投資対象とする投資信託証券の申込み・解約及び換金の停止ならびに基準価額算出の中止、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、取引市場における流動性が極端に低下した場合、取引市場の混乱、自然災害、テロ、大規模停電、システム障害等により基準価額の算出が困難となった場合、投資対象国等における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、税制の変更、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等）による市場の閉鎖または流動性の極端な低下もしくは資金決済に関する障害等その他やむを得ない事情があると判断したとき
信託期間	2027年12月16日まで（設定日　2013年1月29日） ※ 委託会社は、信託約款の規定に基づき、信託期間を延長することができます。
繰上償還	次のいずれかの場合には、繰上償還させることがあります。 ・ 主要投資対象とする投資信託証券が償還する場合 ・ 受益権の残存口数が10億口を下回ることとなった場合 ・ 繰上償還することが受益者のため有利であると認めるとき ・ やむを得ない事情が発生したとき
決算日	原則、毎月18日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時（年12回）、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ※ 分配金を受取る一般コースと、分配金を再投資する自動けいぞく投資コースがあります。販売会社によっては、どちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。各コースのお取扱いにつきましては、販売会社までお問い合わせください。
信託金の限度額	7,000億円
公告	委託会社のホームページ（https://www.sompo-am.co.jp/）に掲載します。
運用報告書	原則、毎年６月、12月の決算時及び償還時に、交付運用報告書を作成し、あらかじめお申し出いただいたご住所に販売会社を通じて交付します。
課税関係	● 課税上は株式投資信託として取扱われます。 ● 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象となりますが、当ファンドはNISAの対象ではありません。 ● 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。

S&P世界リート指数とは、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが発表している、日本を除く世界の先進国に上場するREIT（リート）及び同様の制度に基づく銘柄の浮動株修正時価総額に基づいて算出される指数です。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、S&P世界リート指数の適格性、正確性、適時性、完全性、データの遅延、及び電子媒体を含む口頭または書面でのコミュニケーションについて保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、障害、債務、誤り、欠落又は遅延に対する責任を負いません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、特定の目的、使用、もしくはSOMPOアセットマネジメント株式会社が得るであろう結果への商品適格性、もしくは適切性の保障に関して、明示的にも暗示的にも保証しません。以上のことに関わらず、いかなる場合においても、間接的、特定の、偶発的、罰則的、あるいは結果的な損害（利益の損失、トレーディング損失、損失時間、のれんを含む）について、仮にそれらの可能性について事前に通知されていたとしても、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが責任を負うことはありません。
※「S&P」は、スタンダード＆プアーズ・ファイナンシャル・サービシーズLLC（以下「S&P」）の登録商標です。これらはS&P ダウ・ジョーンズ・インデックスに対して使用許諾が与えられています。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス、ダウ・ジョーンズ、S&P、その関連会社は、本商品を支持、推奨、販売、販売促進するものではなく、また本商品への投資適合性についていかなる表明をするものではありません。

好配当グローバルREITプレミアム・ファンド通貨セレクトコース（愛称：トリプルストラテジー）

ファンドの費用

<table>
<tr><th colspan="3">投資者が直接的に負担する費用</th></tr>
<tr><td colspan="2">購入時手数料</td><td>購入価額に3.85%（税抜3.5%）を上限として販売会社が定めた手数料率を乗じた額です。販売会社によるファンドの商品説明・投資環境の説明・事務処理等の対価になります。
※ 詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">信託財産留保額</td><td>換金請求受付日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じた額です。</td></tr>
<tr><th colspan="3">投資者が信託財産で間接的に負担する費用</th></tr>
<tr><td rowspan="2">運用管理費用
（信託報酬）</td><td>運用管理費用
（信託報酬）</td><td>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.968%（税抜0.88%）を乗じた額です。
運用管理費用（信託報酬）は、毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。
<table>
<tr><th>支払先</th><th>配分（税抜）</th><th>対価として提供する役務の内容</th></tr>
<tr><td>委託会社</td><td>年率0.35%</td><td>ファンドの運用の対価</td></tr>
<tr><td>販売会社</td><td>年率0.50%</td><td>購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価</td></tr>
<tr><td>受託会社</td><td>年率0.03%</td><td>運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>投資対象とする
投資信託証券
の信託報酬等</td><td>年率0.97%
投資対象とする投資信託証券の運用の対価、管理報酬等です。
※ 年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。
※ 上記の信託報酬等は、本書類作成日現在のものであり、今後変更となる場合があります。また、上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等（監査費用、弁護士費用等）、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">実質的な
運用管理費用
（信託報酬）</td><td>ファンドの純資産総額に対して概ね1.938%（税込・年率）程度となります。
※ ファンドの運用管理費用（信託報酬）年率0.968%（税抜0.88%）に投資対象とする投資信託証券の信託報酬等（年率0.97%）を加算しております。投資信託証券の組入状況等によって、ファンドにおける、実質的に負担する運用管理費用（信託報酬）は変動します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">その他の費用・
手数料</td><td>以下の費用・手数料等が、ファンドから支払われます。
・ 監査法人に支払うファンド監査にかかる費用
・ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
・ 外国における有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
・ 信託財産に関する租税 等
※ 上記の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。</td></tr>
</table>

● 当該手数料等の合計額については、投資者のみなさまがファンドを保有される期間、売買金額等に応じて異なりますので、表示することができません。

好配当グローバルREITプレミアム・ファンド通貨セレクトコース（愛称：トリプルストラテジー）

●税金

・ 税金は表に記載の時期に適用されます。
・ 以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税及び地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315％
換金（解約）時 及び償還時	所得税及び地方税	譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315％

※ 当ファンドは、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の対象ではありません。
※ 法人の場合は上記とは異なります。
※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

●委託会社・その他の関係法人

委託会社	ファンドの運用の指図を行います。 ＳＯＭＰＯアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者（関東財務局長（金商）第351号） 加入協会　一般社団法人資産運用業協会 ホームページ　：　https://www.sompo-am.co.jp/ 電話番号　　：　0120-69-5432　●リテール営業部
受託会社	ファンドの財産の保管及び管理を行います。 みずほ信託銀行株式会社
販売会社	受益権の募集の取扱、販売、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金、償還金および一部解約金の支払等を行います。

当資料のご利用にあたっての注意事項

◆ 当資料は、ＳＯＭＰＯアセットマネジメント株式会社により作成された販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。当ファンドの購入のお申込みの際には販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので、必ずお受け取りの上、詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。

◆ 当ファンドは、値動きのある証券に投資しますので、基準価額は大きく変動します。また、外貨建て資産に投資する場合には、為替リスクがあります。投資信託は、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。

◆ 信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。

◆ 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

◆ 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。

◆ 当資料に記載されているグラフ・数値等は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。分配金に関しては、運用状況によっては、分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。

◆ ファンドマネージャーのコメント、方針、その他の予測数値等については、作成時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等により、当該運用方針やその他予測数値等が変更される場合があります。また、記載した内容は、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

◆ 当資料に記載されている各数値は四捨五入して表示していることがありますので、誤差が生じている場合があります。

◆ 当資料に記載されている各事項につきましては、正確性を期しておりますが、その正確性を保証するものではありません。当資料に記載の当社の意見等は予告なく変更することがあります。

SOMPO

●販売会社（順不同、○は加入協会を表す）

販売会社名	区分	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業協会	備考
Ｊトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○	○	○		
株式会社ＳＢＩ証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○	
ＰＷＭ日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第50号	○			○	
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○	
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○			
立花証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第110号	○		○		
第四北越証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○				
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○	
三田証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第175号	○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	
浜銀ＴＴ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○				
ＳＭＢＣ日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○	
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	○	○		○	
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○				
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○	
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○		
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○	
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○				
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○				
株式会社ＳＢＩ新生銀行 （委託金融商品取引業者 株式会社ＳＢＩ証券、マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○		
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○		
株式会社イオン銀行 （委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○				

＜備考欄の表示について＞

※１　記載の日付より新規お取扱いを開始します。

※２　記載の日付以降の新規お取扱いを行いません。

※３　新規のお取扱いを行っておりません。

＜ご留意事項＞

・上記掲載の販売会社は、今後変更となる場合があります。

・上記掲載以外の販売会社において、お取扱いを行っている場合があります。

・詳細は販売会社または委託会社までお問い合わせください。